



テクニカル・メッセージ

プロペラシャフト給脂 指定グリース使用のお願い

プロペラシャフトのユニバーサルジョイント部に誤ってシャシのグリースを使用してしまうと、耐熱性等の違いからユニバーサルジョイントが損傷しガタの発生や脱落する場合があります、路上故障や重大な故障の原因となる事があります。

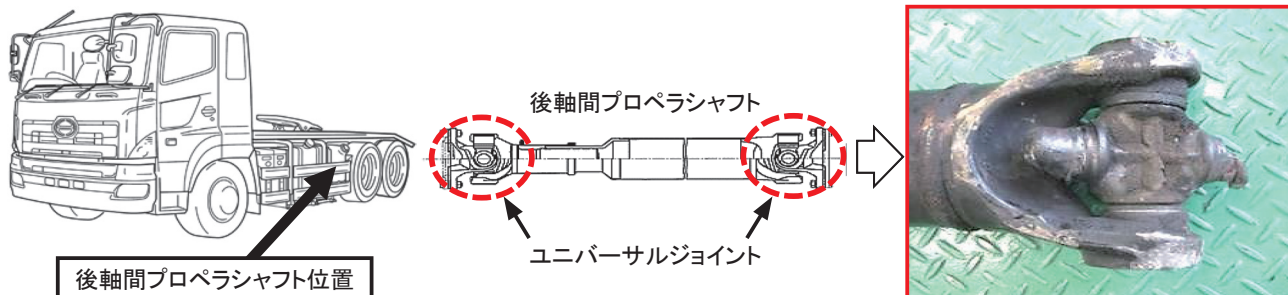
安全に運行していただくために、当該部へはベアリンググリースを給脂していただくよう、お願い致します。

■ 対象車型

トラック・バス全車

■ プロペラシャフト給脂油種誤使用による損傷の事例

《大型二軸セミトラクタエアサス車 シャシグリース使用でのユニバーサルジョイント破損事例》



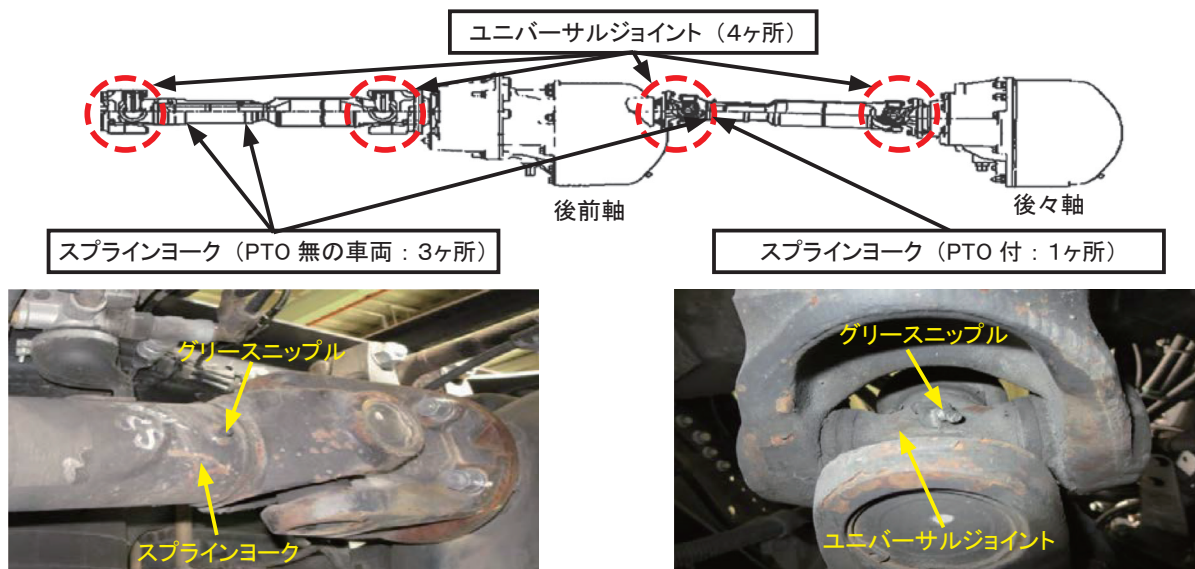
■ 適切な給脂油種について

プロペラシャフトの各ニップル部には リチウム系ベアリンググリース を給脂してください。

※グリース推奨銘柄・・・日野純正ブルーリボンベアリンググリース

《給脂時期、給脂部位の事例：大型二軸セミトラクタエアサス車》

部位	T/M PTO 有無	部位数	給脂時期	日野推奨のグリース銘柄
ユニバーサルジョイント	—	4	5,000km ごと	日野純正ブルーリボンベアリンググリース (リチウム系ベアリンググリース)
スプラインヨーク	PTO 無	3		
	PTO 付	1		



注 意

- ・各部位に使用するグリスはその部位の温度等の特性に合ったものを使用しております。
- ・プロペラシャフトにはリチウム系ベアリンググリス（推奨銘柄：日野純正ブルーリボンベアリンググリス）を使用してください。
（シャシグリス等、他の種類のグリスは使用しないでください。）
- ・給脂はグリスニップル及び塗布部位の泥やほこりを取ってから行ってください。
- ・給脂は古いグリスが全て排出されるまで行ってください。
（ユニバーサルジョイント部においては、軸部4箇所から古いグリスが排出された事を確認してください）
- ・給脂後あふれ出たグリスは必ず拭き取ってください。

（参考）グリスの分類・用途

「JIS K 2220 : 2013 グリス」 抜粋

用途別	使用温度範囲（℃）
シャシグリス	－ 10 ～＋ 60
リチウム系ベアリンググリス	－ 20 ～＋ 120

グリスは使用部位の温度等に適した種類を選定しております。

各部位の油種は取扱説明書をご確認の上ご使用いただくようお願い致します。